

A Letter to Families About Creative Art

- クリエイティブアートについて -

アートはプレイグループにおいて大切なクラス活動の一つになります。私達は子どもたちにたくさんのアートを体験できるように様々なプログラムを準備しています。アートの時間において、お絵かき、色塗り、のりを使った工作、ねんどなどの型取りは子どもたちの学習面において重要な役割を果たします。豊富なアートの材用や道具の使い方を詮索していく中で、子どもたちは自分達の考えや感情を表現し、目と手先の協調関係(目で距離感を測り、その情報を手に伝えること)を築き、色の名前や感触を覚え、創造性を育むことができます。

アートの時間、私達は子どもたちに積極的に話しかけていきます。質問を投げかけることで子どもたちの作品に対する思いや、どのように材料や道具を使ったらいいかを考えさせます。

では一体なんと子どもたちに話しかけたらいいでしょうか。

皆さんのお子さんが紙に絵を描いている所を想像してください。この時に投げかける質問として、

- ①「ねえねえ、この絵のこと教えて？」
- ②「これはお家かな？」

果たしてどちらの方が子どもたちの制作意欲の向上や自信につながるでしょう？

正解は①です。もし描いたものがお家じゃなかった場合、その子はちょっとリジョンボリしてしまうかも…

プレイグループに通う子どもたちの中にはアートが大好きで、自分たちで紙とマーカーを出してきては「あとでママに見せる！」と、意気揚々と作品をバッグに詰める子もいます。ぜひご家庭でも持ち帰った子どもたちの作品を話し合う時間を作ってあげてください。

「どうやってちぎった紙を画用紙にくっつけたの？」

「どうしてこのお色を使ったの？」

「この作品の中で一番好きなのところはどこ？」

「どこにこの絵を飾ろうか？家族みんなが見れるところがいいね！」

その他にも、ご自宅にある絵本や美術作品と一緒に見て感想を言い合うのも、アートに対する関心を増やす材料となります。

子どもたちにアートに興味を持たせるために、実はぬり絵の本は必要ではないんです。お家にアート専用の棚があって、クレヨンや水彩絵の具、紙、子ども用のハサミ、のり、そしてコラージュ用の小さな紙切れなどがあるだけで、子どもたちは自分たちで想像力と美術的センスを磨くお手伝いができるのです。